

# 令和4年度「みやぎきの教育に関する調査」集計結果の概要について

令和5年3月31日  
教育庁教育政策課

## 1 調査目的

「宮崎県教育振興基本計画」の推進に関して、県教育委員会の施策及びその推進の在り方の改善を図るために、学校、家庭、地域、児童・生徒、教職員の現状や意識を把握する。

## 2 調査について

### (1) 調査対象等

調査種類	調査対象	回答者数
学校向け	全ての市町村立幼稚園、小・中学校及び、義務教育学校・県立中学校・中等教育学校・高等学校・特別支援学校	413校
家庭向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の保護者（1校あたり3人程度）	1,421名
地域向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の地域住民（1校あたり3人程度） ※ 県立中学校は附属する高等学校を含む	1,035名
児童・生徒 向け (抽出調査)	抽出校（65校）の小学校5年生・特別支援学校小学部5年生（1校あたり1クラス）	1,372名
	抽出校（55校）の中学校2年生・特別支援学校中等部2年生（1校あたり1クラス）	1,204名
	抽出校（40校）の高等学校2年生・特別支援学校高等部2年生（1校あたり1クラス）	1,010名
教職員向け (抽出調査)	学校向け調査対象校の教職員（1校あたり4人程度）	1,319名

### (2) 調査方法

オンライン調査（調査対象へ各学校を通して調査URLを送付し実施）

### (3) 調査期間

令和4年12月9日～令和5年1月31日

## 3 調査結果の概要

### (1) 学校向け調査について

問10 校内研修において「全国学力・学習状況調査」及び「みやぎき小中学校学習状況調査」の問題や結果資料を分析・活用している学校が昨年度に引き続き100%であった。

問24 地域や産業界等と連携・協働したキャリア教育に取り組んでいると答えた学校が95.0%（前年度92.9%）と高くなり、新型コロナウイルス感染症の状況により取組を控えた学校も2.0%（前年度4.7%）と低くなり、コロナ禍前の取組状況に近づきつつある。

問25 将来の夢や目標を持って職業や生き方を考えている中学3年生の割合は87.1%（前年度88.1%）と若干の低下が見られた。

### (2) 家庭向け調査について

問12 家庭が担うべき役割として回答された割合が上位の項目

※複数回答。( )内は前年度

項目	割合
基本的なルールやマナーを身につけること	95.5%(94.2%)
あいさつ、言葉づかい、礼節など日常生活習慣を身につけること	93.8%(92.2%)
やさしさや思いやりの心の育成	89.0%(84.4%)

- 問16 これからの宮崎県の教育で重点的に取り組んだ方がよいと思う事項と回答された割合が上位の項目 ※複数回答。( )内は前年度

項目	割合
いのちを大切にする教育の充実について	76.8%(76.0%)
学力の向上について	75.2%(68.6%)
体力の向上について	66.4%(58.4%)

- 問19 コロナ禍において、子どもたちが今後学校生活を送る上での課題として回答された割合が上位の項目 ※複数回答。( )内は前年度

項目	割合
学校行事や体験活動等の実施	73.0%(67.8%)
心身の健康と体力の向上	57.4%(51.6%)
学習の遅れへの対応	49.1%(44.2%)

### (3) 地域向け調査について

- 問5 家庭教育は保護者がその役割を果たすとともに、地域住民や学校等にも家庭教育を支える役割があることを知っていますかの問いに「知っている」と答えた割合が85.8%（昨年度88.7%）であった。
- 問6 あなたの住む地域では、子どもたちが地域の行事に積極的に参加していますかの問いに、「参加している」「ある程度している」と答えた割合が92.4%（前年度90.9%）で、コロナ禍前の状況に近づきつつある。
- 問7 あなたの住む地域の学校では、地域の意見も取り入れながら、地域と一緒に子どもを育てるための取組を進めていますかの問いに「取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と答えた割合が92.2%（前年度91.9%）と高い数値を維持している。

### (4) 児童・生徒向け調査について

- 問3 自分にはよいところがあると思うかの問いに、「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合が、小学5年生、中学2年生で昨年度より上昇している。

調査対象	令和4年度	令和3年度	令和2年度
小学校・小学部5年生	80.2%	78.8%	78.6%
中学校・中等部2年生	79.2%	76.5%	71.8%
高等学校・高等部2年生	79.4%	81.1%	77.9%

- 問11 将来の夢や目標を持って自分の職業や生き方について考えているかの問いに、「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた割合がやや低下している。

調査対象	令和4年度	令和3年度	令和2年度
小学校・小学部5年生	86.1%	86.1%	82.2%
中学校・中等部2年生	78.6%	79.5%	76.0%
高等学校・高等部2年生	84.3%	85.3%	81.5%

- 問13 「人権が尊重されている学校になっている」と思うかの問いに、「とてもあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた児童生徒の割合が89.8%（前年度89.2%）と微増している。

### (5) 教職員向け調査について

- 問3 児童生徒がICT機器を授業や学習活動などで活用する場面をほぼ毎日設定していると回答した割合が62.5%（前年度58.0%）であり、年々増加している。
- 問5 あなたの学校では、以前に比べて、働きやすい環境づくりに取り組んでいますかの問いに、「よく取り組んでいる」「ある程度取り組んでいる」と回答した割合が88.4%（前年度87.1%）と年々増加している。
- 問11 今後の宮崎県の教育について、重点的に取り組むべきだと思われる事項として回答された割合が上位の項目 ※複数回答。( )内は前年度

項目	割合
学力の向上について	72.4%(67.5%)
働き方改革の推進について	67.0%(62.7%)
特別支援教育について	44.3%(41.3%)